

「ぼうさい探検隊マップコンクール」現地表彰式を実施 ～愛媛県愛南町立柏小学校の児童が「未来へのまちづくり賞」を受賞、佳作にも入選～

日本損害保険協会中国・四国支部愛媛損保会（会長：橘 洋祐・三井住友海上株式会社 四国西支店長）は、2月16日（月）に愛媛県愛南町立柏小学校において、第22回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で、「未来へのまちづくり賞（朝日新聞社賞）」を受賞した「早めのひなんよびかけ隊」および佳作に入選した「柏っこ18」をお祝いするため、表彰式を開催しました。

本コンクールは、子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災、防犯、交通安全に関係のある施設や設備を発見し、地域の人などにインタビューし分かったことをマップにまとめる実践的安全教育プログラムです。2025年度は全国の小学校、子ども会、児童館など407団体から6,665人が参加し、1,289作品が寄せられ、入賞17作品のほか、デジタルマップ特別賞5作品、佳作60作品の受賞がありました。

表彰式では、学校関係者や保護者などが見守る中、橘会長から、児童に対してお祝いの言葉が述べられた後、表彰状および副賞が贈呈されました。児童からは、「みんなで協力してマップを作成した」「頑張って作成したマップをいろんな人に見てもらいたい」「来年もマップの作成に挑戦したい」といった発表がありました。児童の発表を踏まえて、改めて、橘会長がマップの特長を踏まえた感想を述べるとともに、これまでの地道な児童の防災活動に賛辞を述べられました。

表彰式に出席した保護者からは、「地域の特性を自分たちで調査して、使いやすい立派なマップが完成している。」との感想がありました。また、児童を指導した先生からは「地域外から訪れた人への視点もあり、児童の防災意識がとても高まった。」との意見がありました。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携し、各種防災教育の普及啓発に取り組んでまいります。

【「未来へのまちづくり賞」を受賞した「早めのひなんよびかけ隊」のマップの特長】

受賞した「早めのひなんよびかけ隊」は「継続性」「地域との情報共有」「地域外から訪れた人への視点」の3つの観点から、「未来へのまちづくり賞」に選ばれました。多くの情報を視覚的にわかりやすいマップに仕上げているのが特徴です。愛南町内の公園や温浴施設の利用者のみなさまに、3年間にわたって、聞き取り調査を実施して、課題を見つけ出しながらマップづくりを進め、児童手づくりで安全面と危険箇所をまとめた「防災だより」を作成し、ホームページに公開するなど、地域への情報発信を積極的に行いました。実際に公園などの利用者にインタビューを行い、防災にかかる情報について発信することで、避難場所や避難方法について、県外の方の防災意識を高めることにも寄与していることがうかがえます

【「佳作」に入選した「柏っこ18」のマップの特長】

「柏っこ18」は「地域とのつながりを大切にし、明るい未来につなげる柏地区であるという気持ちを表現したい。」との思いを「逃げマップ」に載せて、自分たちにできることを自分で考え、行動にも移しました。「柏っこ18」からは「防災士」も誕生しています。



記念撮影



橘会長から児童に表彰状贈呈



児童の発表



「早めのひなんよびかけ隊」が作成したマップ



「柏っこ18」が作成したマップ